

橋梁アセットマネジメントシステム

分類コード	A-00 その他の調査・診断			(工法(システム)・機器・材料)		
関連分類コード	-					
事例集リンク	(有無)					
問合せ先	会社名	リテックエンジニアリング株	T E L	03-6229-6851		
	部署	技術本部 第3グループ	F A X	03-6229-6853		
	住所	〒107-0052 東京都港区赤坂 6-4-2 赤坂 MS ビル				
	E-mail・URL	E-mail : info@retec.co.jp	URL : http://www.retec.co.jp/			
内容	対象構造物	道路橋全般 (コンクリート橋・鋼橋)				
	項目	橋梁アセットマネジメントシステム				
	使用機器	塩害・中性化・凍害・アルカリ骨材反応・疲労・防食機能劣化・腐食				
使用実績	パソコン (OS : Windows7)					
<p>【システムの特長】</p> <p>特長 1: 点検・劣化予測・ライフサイクルコスト (以下、LCC) 算定から、予算シミュレーションを経て、中長期予算計画・中期事業計画・進捗管理・事後評価までの一連のPDCAサイクルを支援することが可能。</p> <p>特長 2: 国土交通省橋梁定期点検要領 (H26) に準拠した要素分割を行い、さらに端部を別要素として扱い、各々健全度を評価する。このため LCC 算定精度が高く、補修範囲を特定することも可能。</p>						
<p>■PDCAサイクル</p>						
<p>■健全度評価</p> <p>主桁の要素分割(例)</p>						

特長 3：劣化事例データ等に基づき、部材ごと・劣化機構ごとに劣化予測モデル式を設定。さらにこれを環境条件、個体条件を考慮して複数の劣化予測式として設定。

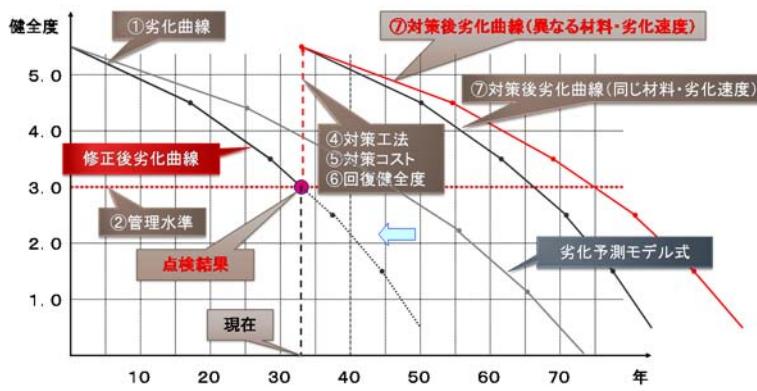
特長 4：点検結果を反映させた劣化予測式の自動修正機能により、対策時期推定の精度が著しく向上。結果、LCC 精度が向上。

特長 5：多様な維持管理シナリオにより LCC 最小化を目指した予算シミュレーションを実行。予算制約を考慮した、より現実に即した中長期予算計画の算定が可能。

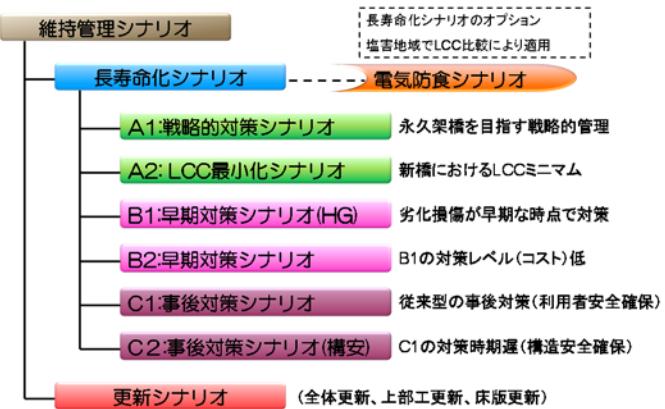
特長 6：対策工事リストの自動作成機能により、橋梁別、部材別の対策実施年度を出力。中期事業計画（長寿命化修繕計画）の策定を支援。

特長 7：要素単位で健全度や対策履歴を管理可能。劣化予測式に結果を反映することで、LCC 算定の精度向上を図ることが可能。

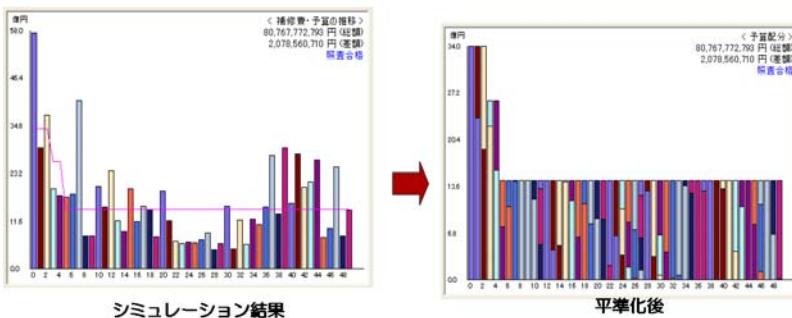
■ 点検結果を反映した劣化予測と LCC 算定



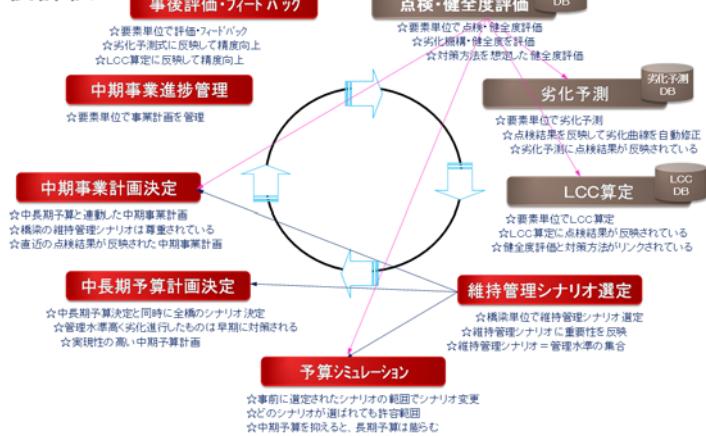
■ 多様な管理シナリオ



■ 予算の平準化



■ 事後評価



参考文献(発表論文)

—

特 許 取 得

・有

・無

・出願中

資料作成日

2015年 5月